

学校 教育 目標	【学び合い 高め合い まちとともに明日を拓く豊岡っ子】 『知』 自ら、問題意識をもって追究し、主体的に学ぶ力を育てます。 『徳』 互いのよさや違いを認め合い、思いやりの心を育てます。 『体』 健康な生活を実践し、体力を高め、心身ともにたくましく生きる力を育てます。 『公』 「まち」と進んでかかわり、「まち」を愛する心を育てます。 『開』 多様な考えを尊重し、新たな価値に気付いて、共に行動しようとする子を育てます。				
学校 概要	創立 103 周年	学校長 柳澤 尚利	副校長 原 義行	2 学期制	一般学級：22 個別支援学級：8
	児童生徒数：	721 人	主な関係校： 鶴見中学校、鶴見小学校		

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	〇〇中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<問題発見・解決能力> <自分づくりに関する力>	鶴見中学校 鶴見小学校 豊岡小学校	『力をあわせて、ともに歩もう』 自分のよさに気づき、愛するまちや人とともに、自分の生き方を切り拓いていく児童生徒を育てます。 ・三校合同で児童生徒理解研修、教科研修、領域研修を行う。 ・9年間で育てる子どもの像 成長目標 を意識し、各校で研修を企画する。 ・体験入学や、部活動体験を行うことで、連携を深める。

中期 取組 目標	○子どもが主体となって「笑顔」「わくわく」「優しさ」がいっぱいの学校を創ります。 ・子どもの思いや願い、対話や協働を大切に授業改善に取り組み、主体的に学ぶ力を育てます。 ・学習、生活の様々な場面で互いを認め合う活動を取り入れて、自分も相手も大切に育てます。 ・進んで体を動かすことを楽しみ、健康的な生活を送るための生活習慣を育てます。 ・子どもが、豊かな体験を通して、まちを愛し、人・もの・ことに進んでかかわろうとする子を育てます。 ・一人ひとりを見取り、寄り添い、データも活用しながら子どものニーズに応じた教育活動を推進します。
----------------	--

重点取組分野		具体的取組
知	授業改善	①子どもの思いや願いを大切に、子どもたちが学習の見通しをもち、協働的に学習を進めることができるようにする。②ICTやシンキングツールを活用しながら、資料や調査した事を整理したり、自分の考えを発信したりすることを大切にしてい。③生活・総合の研究を通して、まちの「人、もの、こと」を中軸に学習を行っていく。また、まちの「人、もの、こと」に対して子どもたち同士で意見や考えを出し合いながら学習を進めていくことができるように学年や部会で授業改善を図っていく。
	担当 授業改善PJ	
徳	人権教育	①たてわり活動やペア学年活動による異学年交流をより充実させることで、相手を思いやる心を育む。②子ども会議のテーマについて話し合い、子どもの意見を積極的に取り入れることで、「誰もが」「安心して」「豊かに」過ごせる学校づくりを推進する。③あいさつや返事、適切な言葉遣いについて大切さを繰り返し伝えらるとともに保護者や地域と連携を図りながら指導していく。
	担当 心の安心PJ	
体	健康・安全教育	①データを活用し、年間を通した体力づくりを推進するために、運動に慣れ親しむ機会を増やす。②校医との連携を図り、歯・口の健康づくりを推進し、自らの健康についての意識を高める。③栄養分野についての理解を深め、自らバランスの取れた食事をとれるよう、栄養教諭を中心に食育を推進する。④防災訓練や交通安全の取組を通して、自ら安全に行動できる力を育む。
	担当 健康・安全PJ	
公 開	自分づくり教育 (キャリア教育)	①どの学習においても子どもの思いや願いを大切に、見通しや、目的、目標をもち、それに向かって取り組むことができるように支援する。②学習や行事等で振り返りを丁寧に、自分の学びの過程や成長と向き合う機会を確保し、価値付け、自己肯定感の向上を図る。
	担当 授業改善PJ	
	いじめへの対応	①「いじめ防止基本方針」のもと、いじめ防止対策委員会等で、未然防止や、早期対応で組織的な解消を図る。②アンケートやYPアセスメントの分析、毎日の心の健康観察(スタディナビ)等により子どもの心の変化を把握し、支援する体制づくりをする。③いじめ防止等の研修を充実させ、全教職員のいじめに対する意識を高める。④子ども会議等、子どもがいじめについて考え、話し合う機会を作り、いじめ未然防止の取組を推進していく。
	担当 いじめ防止対策委員会	
	人材育成・ 組織運営(働き方)	①メンターチームでは、メンバーと学び合いを重ね、資質・能力の向上を図る。②ミドルリーダーを中心に学校運営の改善をプロジェクトチームで行うことを通して、リーダーシップやマネジメント力の向上を図る。③ICT等を活用して、事務の効率化や情報共有の方法などの業務改善をプロジェクトチームを中心に組織的に推進していく。
	担当 人材育成部・メンターチーム	
	児童生徒指導	①「とよおかスタンダード」をもとに、学校のきまりについて共通理解を図る。②教育相談や心の健康観察(スタディナビ)、日頃からの声掛けなど、子どもの思いに寄り添った支援に取り組む。③心の安心PJにおいて、児童指導に関する問題を把握し、早期の対応を図るようになる。④チームマネジャーやチームサポーターと学年やブロックで問題を共有し、組織的な対応を図る。
	担当 心の安心PJ	
	特別支援教育	①児童支援専任・特別支援教育コーディネーターを中心に、地域、保護者、専門機関等と連携し、困り感のある子どもや家庭をチームで支援していく。②支援が必要な子どもの理解と、支援方法や交流学習について心の安心PJや特別支援教育校内委員会等で共通理解や課題解決を図る。③特別支援教育の理解を深めるために、教職員の研修に取り組む。④特別支援教室の実践推進校として、より子どものニーズに応じた運営を検討し、推進する。
	担当 心の安心PJ	
	地域連携	①地域コーディネーターを中心とした学習ボランティア組織をつくり、地域の力を教育活動に生かした仕組みづくりを推進する。②地域教材やカリキュラム管理を行い、単元開発を図る一助となるようにする。③ホームページ等を活用して積極的に情報発信を行うことで、学校の教育活動の共通理解を図り、保護者や地域とともに子どもを育てる協力体制を構築する。
	担当 GIGA・地域連携PJ	
担当		